



聖教新聞社 東京都新宿区信濃町18 郵便番号160-8070 電話(03)3353-6111 ©聖教新聞社 2010年 http://www.seikyonet.jp

世界を変える

笑顔の

デザイン

北京五輪の開会式を彩った子どもたちの笑顔——。「デザインで人を幸せにする」という夢を追いかける、アートディレクターの水谷孝次さん。新著『デザインが奇跡を起こす』（PHP研究所）をめぐり、「MERRY（メリー）な取り組み」について聞いた。

25カ国3万人以上の人々を撮影

北京五輪の開会式での子どもの笑顔は、非常に印象に残りました。

「クライマックスで子どもたちの笑顔を使う」という話を聞き、居ても立ってもいられません。世界の恵まれない発展途上国、開発途上国の子どもたちの笑顔を出さなければ意味がないと思っただから、す。だから、張芸謀（チャン・イーモウ）さんに手紙を書いたのです。どこかでイーモウさんとは思いますが一致していたのでしょうか。自身で北京に行き、これまで撮った子どもたちの写真を広げたら、イーモウさんが「これには心がある」と言ってくれました。



水谷孝次さんに聞く

い。写真を撮る前にまず「あなたにとってMERRY（楽しいこと、幸せなこと、将来の夢など）とは何ですか」と質問し、メッセージを書いてもらいます。みんな真剣に悩んで書いてくれます。そのMERRYな気持ちのまま自然に見せてくれる笑顔は、誰もが輝いています。そうやって撮りためた子どもたちの写真は、これまで10年間で25カ国3万人以上にもなります。今でも一日一日、少しずつ増えているんです。

「あなたにとってMERRY（楽しいこと、幸せなこと、将来の夢など）とは何ですか」と質問し、メッセージを書いてもらいます。みんな真剣に悩んで書いてくれます。そのMERRYな気持ちのまま自然に見せてくれる笑顔は、誰もが輝いています。そうやって撮りためた子どもたちの写真は、これまで10年間で25カ国3万人以上にもなります。今でも一日一日、少しずつ増えているんです。



水谷さんの笑顔が自然な表情を引き出す（オーストラリアで、水谷氏提供）

MERRYな思いを形にする

メリー(楽しいこと、幸せなとき)

人のつながりが

問題解決の力

撮影された子どもたちで、特に印象に残っているのは？

アフリカで、スラムに住み粗末な服を着ている子どもたちが見せてくれた笑顔は忘れられません。しかも、「こんなにいい気分になれたのは、あなたのおかげよ。『YOU』あなたが私にとって一番のMERRY

Yよ」と言ってくれた。最高の幸福だと思いました。これまで、多くの賞をもらったけれど、それに比べて、この一言は僕を本当に清々しい気持ちにしてくれました。

子どもたちの笑顔は世界中をつなげてくれますね。

世界を旅する中で、さまざまな出会いがあります。でも、どこに行っても皆、普通の人間だし、笑顔は変わりません。自然も大好きだけれど、やはり「人っていいな」と実感します。こういう時代だからこそ、笑顔を大切にしていきたいし、人と人のつながりが、いろいろな

「人のため」が「自分のため」

ことを解決していく力になると信じています。——仕事の上で大切にされていることは？

仕事は、もちろん毎日の糧を得るためという一面もありますが、「どうしたら相手に幸福を与えられるか」、そんな発想を持っていないと、最終的には壁にぶつかってしまう。「人のため」にと考えることが結局は「自分のため」になるのです。

どんな仕事にもMERRYはあります。コンビニのレジで「ありがとうございます」といってこりされたら、また買いに行こうかなと思う。どのような仕事でも、人と人のコミュニケーションが大事なのです。

みずたに・こうじ 1951年、名古屋市生まれ。日本デザインセンターを経て、83年に独立。東京ADC賞をはじめ、ワルシヤワ国際ポスター・ビエンナーレ展金賞・銅賞・特別賞など多数受賞。99年から「MERRY PROJECT」に取組む。

を考える時代だと思っただけ。人間が本来持っている。人間が本来持っている感覚が使われていない。目のちょっとした動きでも、この人は時間を気にしているとか、この人は真剣に聞いてくれていて、それが分かる。でも、パッチャルにはそれがわからないわけです。しかも、コミュニケーションを大切にしたいか、創造性などの根底にある人間力がどんどん低下してしまっている。

感性を育てて人間力を高める

「どうして、ここまで笑顔にこだわっているのでしょうか。」

笑顔の次は、泣いている顔や怒っている顔を撮れば、という人もいます。しかし、それは違う。20世紀には、それでも通用したかもしれない。でもこれからは、笑顔のコミュニケーションを基本にすえて、その上で何ができるか

最近の若者の傾向としてコミュニケーションが下手になっていくように思いますが、メールなどバーチャルの中でのコミュニケーションばかりで、話し下手だったり、伝え下手だったりするようになっています。

文化



北京五輪の開会式を彩った子どもたちの笑顔（水谷氏提供）

日本は四季がはっきりしており、豊かな自然によって、私たちの感性は育まれてきました。それが最近では、ちょっと薄れてしまっているのではないのでしょうか。ますます、喜びを感じることが大切になっていくように思います。